



# 2017年3月期第2四半期決算(IFRS)説明会資料

2016/10/27

株式会社 日立ハイテクノロジーズ

執行役社長 宮崎 正啓

執行役専務 宇野 俊一

## **2017年3月期第2四半期決算(IFRS)説明会資料**

- 1. 2017年3月期第2四半期(累計)業績ハイライト**
- 2. 2017年3月期業績予想/中期経営戦略進捗状況**
- 3. 補足資料**



# 1. 2017年3月期第2四半期(累計)業績ハイライト

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。  
(e)は、前回予想(2016年7月公表値)

# 2017年3月期第2四半期業績(累計)(ハイライト)

(億円)	17/3 2Q実績	前年同期比		前回予想比(e)	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	3,048	△92	△3%	△52	△2%
調整後営業利益*1	286	+58	+25%	+69	+32%
EBIT*2	273	+52	+23%	+44	+19%
税引前利益	274	+51	+23%	+44	+19%
四半期利益	209	+40	+23%	+30	+17%
一株利益	151円85銭	+28円76銭		+21円70銭	
一株配当	35円00銭	+10円00銭		+5円00銭	
FCF	+160	+139		+30	

・実績レート: 1USD=105円、1EUR=118円

\*1 調整後営業利益: 売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標

\*2 EBIT(Earnings Before Interest and Taxes): 税引前利益から受取利息及び支払利息を除外した数値

# 2017年3月期第2四半期業績(累計)(セグメント別)

(億円)		17/3 2Q実績		16/3 2Q実績		前年同期比		17/3 2Q予想 <sup>(e)</sup>	
		売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT
	科学・医用 システム	926	145	854	139	+8%	+6	881	130
	電子デバイス システム	572	136	547	74	+4%	+61	591	119
	産業 システム	412	△1	452	△1	△9%	△0	426	△4
	先端産業 部材	1,186	9	1,313	18	△10%	△9	1,224	9
全社合計		3,048	273	3,141	221	△3%	+52	3,100	229

\* 全社合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれています。

## 売上収益・EBIT 偏差説明(2016年7月決算発表時比較)

売上収益 ( 3,100億円 → 3,048億円      △52億円 )

- 科学・医用システム： 医用分析装置の大口案件増加および中国市場向け販売増により45億円増加
- 電子デバイスシステム： 円高による為替影響により20億円減少
- 先端産業部材： 素材価格低迷や日立グループ向け調達事業の販売減により38億円減少

EBIT ( 229億円 → 273億円      +44億円 )

- 科学・医用システム： 売上収益と同様の理由により15億円増加
- 電子デバイスシステム： 主要顧客向けプロセス製造装置のサービス事業が好調に推移したこと等により16億円増加

# 2017年3月期第2四半期業績(累計)(財政状態計算書[要約])

2016年9月末（億円）

			16/3末比				16/3末比
流動資産		4,227	+109	流動負債		1,659	△18
現金および現金同等物	1,762	+68		営業債務	1,026	△74	
営業債権	1,271	△74		その他	633	+56	
棚卸資産	956	+23		非流動負債		403	△19
その他	238	+93		退職給付に係る負債	331	+0	
非流動資産		1,149	△44	その他	73	△20	
有形固定資産	688	△19		資本		3,314	+103
無形資産	78	△25		親会社株主持分	3,311	+103	
その他	382	+0		非支配持分	3	+0	
資産合計		5,376	+66	負債および資本合計		5,376	+66

・一株当たり親会社株主持分 2,407円33銭(16/3末比 +74円83銭)

# 2017年3月期第2四半期業績(累計) (キャッシュ・フロー計算書〔要約〕)

(億円)		2Q累計期間			2Q累計期間
営業活動に関するキャッシュ・フロー		+329	財務活動に関するキャッシュ・フロー		△55
当期利益		+209	配当金の支払		△55
減価償却費		+52	その他		△0
運転資金		+22	換算差額		△37
法人所得税支払および還付		△2			
その他		+48			
投資活動に関するキャッシュ・フロー		△170			
有価証券および その他の金融資産の取得・売却		△3			
有形固定資産および 無形資産の取得・売却		△41			
その他		△126			
フリー・キャッシュ・フロー		+160			

		2Q累計期間
現金および現金同等物		
期首残高		1,694
増減額		+68
期末残高		1,762





## 2. 2017年3月期業績予想 / 中期経営戦略進捗状況

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。  
(e)は、前回予想(2016年4月公表値)  
(e1)は、今回予想(2016年10月公表値)

# 2017年3月期業績予想(ハイライト)

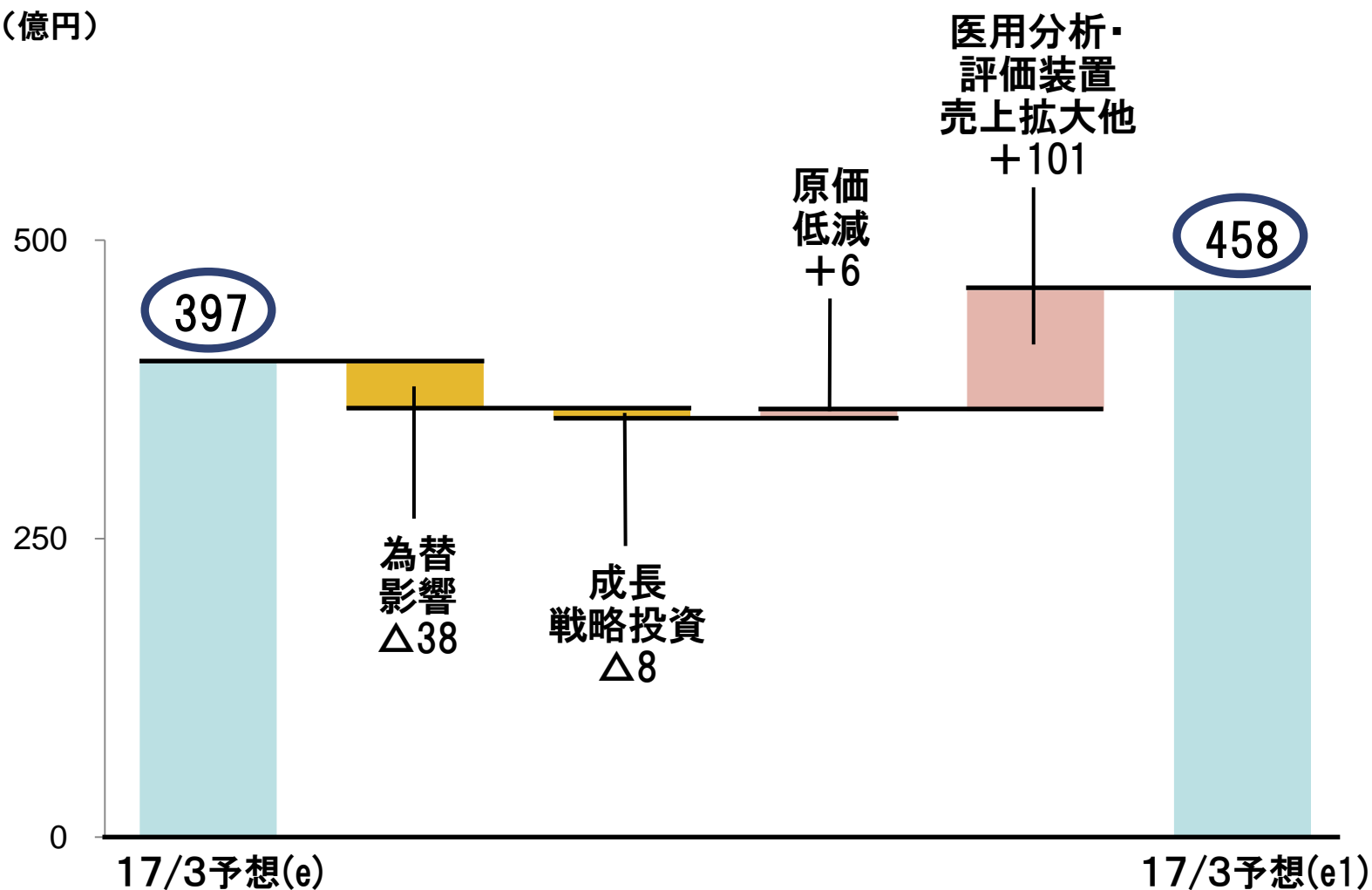
(億円)	17/3予想(e1)	前期比		前回予想比(e)	
		増減額	増減率	増減額	増減率
売上収益	6,300	+10	+0%	△300	△5%
調整後営業利益	465	△5	△1%	+65	+16%
EBIT	458	△24	△5%	+61	+15%
税引前利益	460	△26	△5%	+60	+15%
当期利益	355	△5	△1%	+40	+13%
一株利益	258円13銭	△3円55銭		+29円09銭	
一株配当	70円00銭	+5円00銭		+5円00銭	
ROE	10.7%	△0.8%		+1.2%	
FCF	+205	△41		+170	

・想定レート: 1USD=100円、1EUR=110円

\* 2016年3月期のEBITには、確定給付企業年金制度の一部を確定拠出年金制度へ移行した影響額(38億円)を含んでいます。

# 2017年3月期業績予想(前回予想比増減要因:EBIT)

(億円)



## KPI 目標達成に向けて成長戦略を策定・実行

売上  
収益

市場の伸びを上回る成長の実現

事業ごとの売上収益CAGR > 市場成長率

収益性  
(18年度)

Instruments

EBITマージン率 10%以上

Materials

EBIT絶対額 50億円以上

サービス  
比率

EBITに占めるサービス事業\*の割合:50%以上を維持

## 投資戦略 成長戦略実現に向けて積極的に投資を実行 (2016~2018年度累計)

投資規模

研究  
開発

800億円

バイオ・メディカル事業を中心に増額(2013~15年度比 30%増)

設備  
投資

400億円

- 事業を支える製造能力の拡充と生産技術力の強化
- デモ設備等の拡張による顧客とのコラボレーションの深化

事業  
投資

300億円

バイオ・  
ヘルスケア

社会・産業  
インフラ



手持ち資金活用による  
さらなる事業投資

## 株主還元 配当性向30%をめざし、安定配当を維持

## 収益性 (18年度)

Instruments

EBITマージン率10%以上を維持

17/3 予想<sup>(e1)</sup>

16/3 実績

12%

11%

・バイオ・メディカル事業の拡大および電子デバイスシステムにおける主要顧客の投資が堅調なことから10%以上を維持(前期比+1%)

Materials

EBIT絶対額50億円以上を実現(2018年度)

17/3 予想<sup>(e1)</sup>

16/3 実績

22億円

35億円

・素材価格低迷の影響やスマートフォン等のモバイル関連機器の販売減により減益(前期比△12億円)  
・バリューチェーンソリューション事業の新規案件拡大や積極的な事業投資により収益拡大を図る

## サービス 比率

EBITに占めるサービス事業の割合50%以上を維持

17/3 予想<sup>(e1)</sup>

16/3 実績

61%

59%

・メディカル関連のサービス事業が堅調に推移し、50%以上を維持(前期比+2%)

# 中期経営戦略進捗状況②

## 研究開発

17/3 予想(e1)

247億円

16/3 実績

202億円

主な成果と今後の予定

科学・医用

- ・生化学・免疫市場での競争力強化に向けた新製品開発
- ・遺伝子・細菌検査(新規事業)の立ち上げに向けた開発リソースの投入

電子デバイス

- ・微細化に伴う最先端顧客の課題解決
- ・新構造・新材料等多様なニーズに対応する新たなソリューションの開発

## 設備投資

17/3 予想(e1)

173億円

16/3 実績

120億円

主な成果と今後の予定

科学・医用

- ・日立ハイテック九州設立によるバイオ・メディカル事業の製造拠点強化(10月)
- ・北米における科学機器の開発拠点の設立

電子デバイス

- ・微細加工分野での事業拡大に向けたプロセス開発体制強化

## 事業投資

主な成果と今後の予定

科学・医用

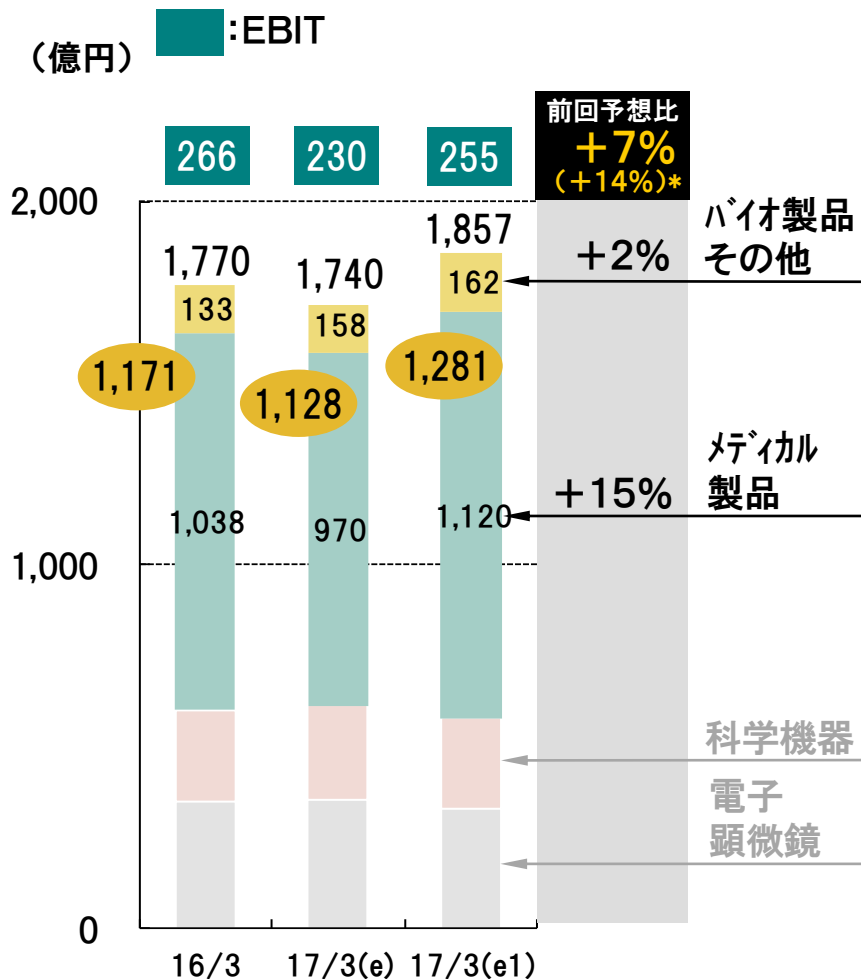
- ・中国:体外診断事業強化に向けた合併会社設立(9月)
- ・欧州:電子顕微鏡販売代理店の全株式取得契約締結(10月)

先端産業

- ・ブラジル:現地金型鋼販売会社の全株式取得(10月)

▶ バイオ・ヘルスケア、社会・産業インフラにおける投資案件の継続検討

## 売上収益・EBITの推移



\*バイオ・メディカル事業の前回予想比

## 成果と今後の取り組み

### 2016年度上期の成果

- ・生化学・免疫分析装置新製品の販売立ち上がりは順調
- ・既存事業の競争力強化  
新型自動分析装置「LABOSPECT 008 α」発売
- ・新規事業の立ち上げ  
迅速細菌検査システム「Verigene」用「多項目同時遺伝子検査試薬」の薬事承認、国内向け発売



日立自動分析装置  
「LABOSPECT 008 α」

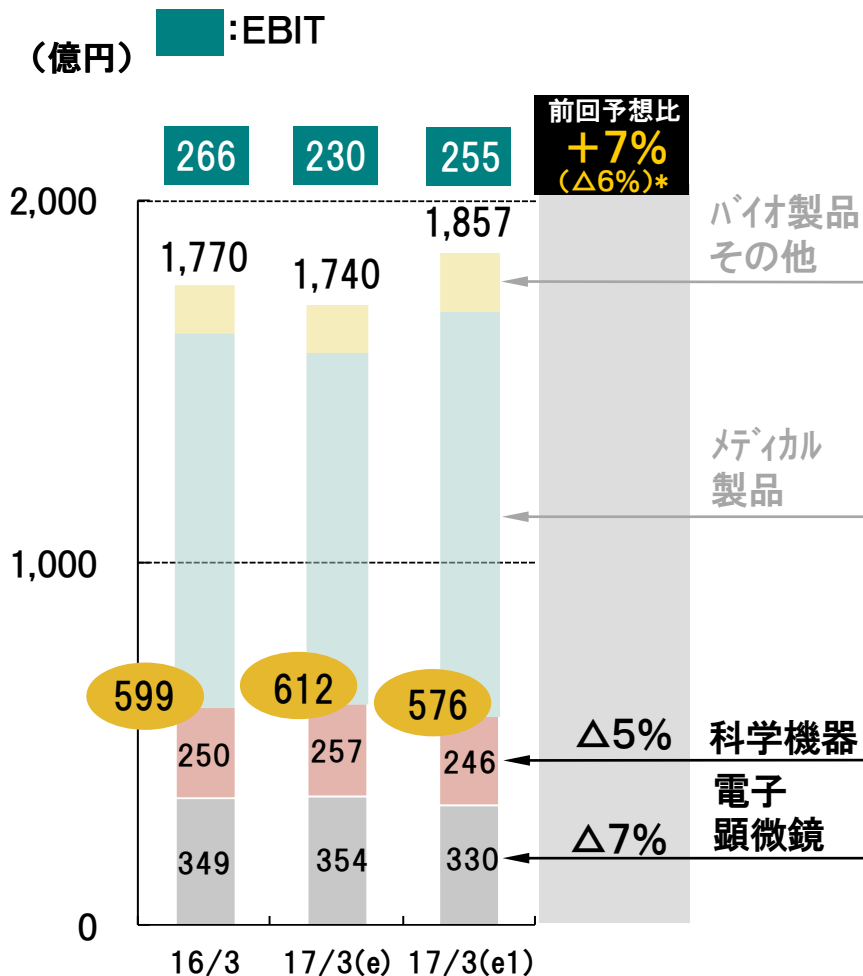


迅速細菌検査システム  
「Verigene(ベリジーン)」

### 今後の取り組み

- ・新規製品・事業の創出
  - 遺伝子検査・診断分野製品の開発推進
  - 「日立診断産品(上海)」設立による装置・試薬の販売からサービスまでのトータルソリューション提供
- ・生産・開発効率向上による収益力向上  
「日立ハイテック九州」設立による競争力強化
- ・2020年の成長に向けた投資の推進  
事業領域拡大のためのM&A/コラボレーションの検討

## 売上収益・EBITの推移



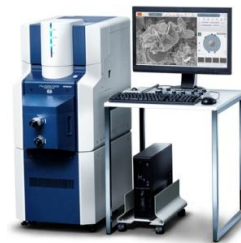
\* 科学システム事業の前回予想比

## 成果と今後の取り組み

### 2016年度上期の成果

- ・円高および欧州の投資抑制等により減収
- ・ボリュームゾーン向けの新製品の継続投入  
走査電子顕微鏡「FlexSEM1000」、  
走査プローブ顕微鏡「AFM5500M」他
- ・専用機の開発および販売促進  
燃料電池用インライン異物検査システムの販売
- ・ソリューションの提供  
光電子相関顕微鏡法(CLEM)用  
システムの共同開発・発売による  
光学顕微鏡との相関解析提供

走査電子顕微鏡  
「FlexSEM 1000」

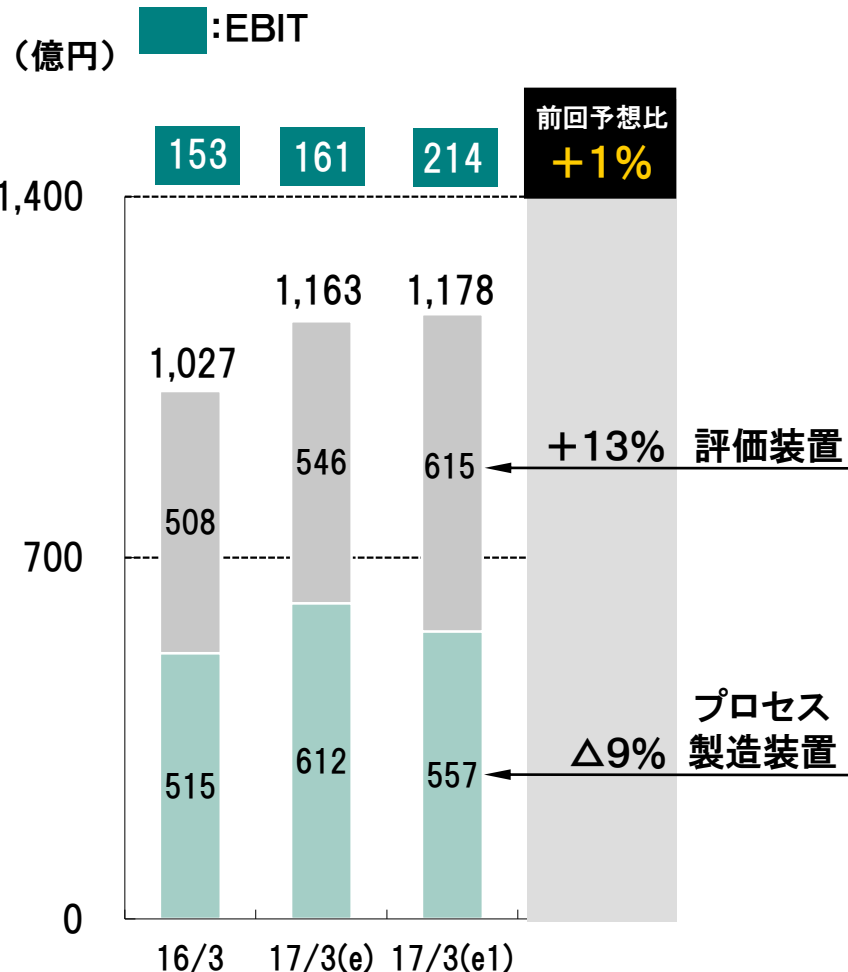


### 今後の取り組み

- ・グローバル販売体制/マーケティング機能の強化
- 欧州Spectral Solutions社吸収合併による販売強化  
(2017年4月日立ハイテックヨーロッパ・スウェーデン支店設立予定)
- 米国における研究/新事業開発・製造拠点の設立
- 中国における販売体制の強化(新規代理店契約他)
- ・高付加価値専用機の開発  
新RoHS規制対応フタル酸エステル検査装置の投入



## 売上収益・EBITの推移



## 成果と今後の取り組み

### 2016年度上期の成果

- ・為替の影響を受けたものの、主要顧客の投資前倒しおよび追加により測長SEMを中心に業績は堅調
- ・三次元構造に対応したソリューション提供による顧客価値最大化
  - 深穴・溝底の測長と、実デバイスパターン上でのオーバーレイ計測を実現
  - ⇒新製品: 高加速測長装置「CV5000」を発売開始(10月)

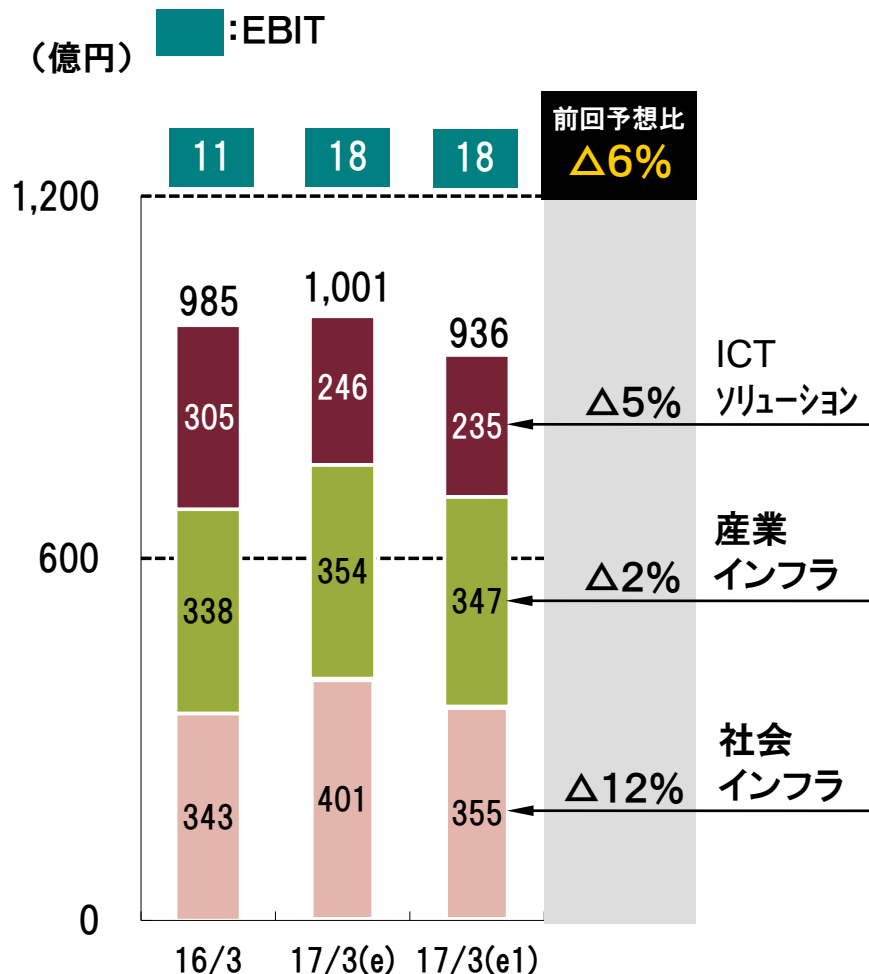
高加速測長装置  
「CV5000シリーズ」



### 今後の取り組み

- ・アーリーコラボレーションのさらなる深化
  - 海外サイト(北米、台湾)を中心に設計者増員、設備増強により、R&Dからデモまでシームレスに対応する体制を強化
- ・IoTやパワーデバイス向けの新事業立上げ加速、サービスメニュー拡充に注力

## 売上収益・EBITの推移



## 成果と今後の取り組み

### 2016年度上期の成果

- ・社会インフラ
  - メガソーラー共同事業(EPC<sup>\*1</sup>)の推進  
(青森県三沢市、石川県小松市)
  - キューバ向け電力事業の拡大
- ・産業インフラ
  - 自動車部品組立装置の売上拡大
  - 有機EL向けほか薄膜製造装置の大型案件獲得

### 今後の取り組み

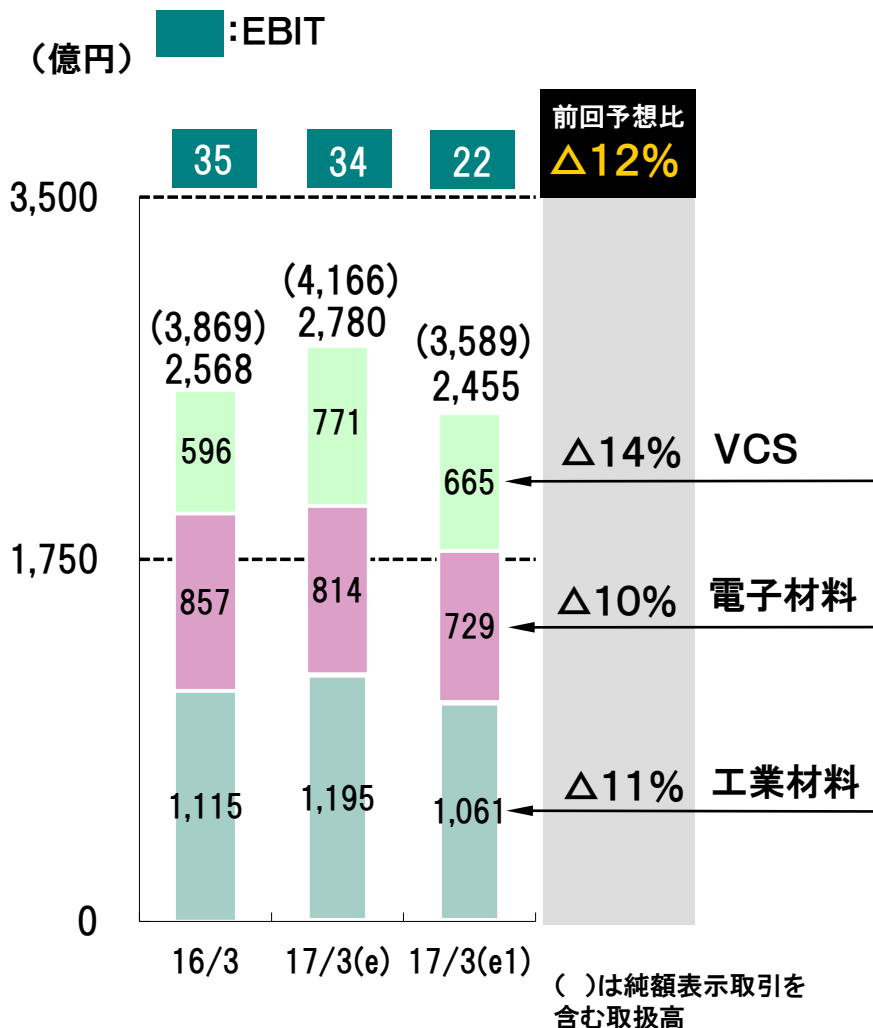
- ・社会インフラ
  - メガソーラー共同事業(EPC)岩手県雫石町竣工  
(11月)
  - 計装・工業計器の新製品・新ソリューション拡販
  - 鉄道検測装置事業の売上拡大・海外展開
- ・産業インフラ
  - 電気自動車用LiB<sup>\*2</sup>量産装置の売上拡大
  - パートナー協業による加飾用IJP<sup>\*3</sup>の市場開拓
- ・ICTソリューション
  - IoTプラットフォームの売上拡大とデータ分析・最適化ソリューションの開発

\*1 EPC: Engineering, Procurement and Construction

\*2 LiB: リチウムイオン電池

\*3 IJP: インクジェットプリンタ

## 売上収益・EBITの推移



## 成果と今後の取り組み

### 2016年度上期の成果

- ・素材価格の下落、スマホ関連部材の需要減等により減収減益
- ・ブラジルにおける金型鋼販売ビジネスの強化
  - Alltech Steel do Brasil Ltda.(金型鋼販売会社)の全株式を取得(10月)
  - 現地ネットワーク活用による金型鋼販売に加え、顧客・仕入先のニーズに対応した金型生産工程の技術指導や周辺設備を提供

### 今後の取り組み

- 「フルバリューチェーン基盤の構築・拡充」
- ・スマートファクトリーサービスの実現  
日立グループのIT/IoT技術を活用した海外工場(スマートファクトリー)により、日系仕入先と海外製造顧客の国際展開、競争力の強化を支援
- ・中南米における樹脂成型事業の協同推進  
2016年度下期に現地生産立ち上げ

## 2017年3月期第2四半期決算(IFRS)説明会資料

**“変える勇気・変わる勇気を持って進む”**

### さらなるお客様志向への変革

個別化されたニーズにきめ細かく応え、高度な専門性でソリューションを提供

### 自律分散型組織への変革

全体最適の視点で、現場の社員が自ら考え、判断、行動する意識改革を推進

**END**

### 3. 補足資料

(注)YY/MはYY年M月期を表しています。  
(e)は、前回予想(2016年4月公表値)  
(e1)は、今回予想(2016年10月公表値)

# 2017年3月期業績予想(セグメント別)

(億円)		17/3 予想 <sup>(e1)</sup>		16/3 実績		前年同期比		17/3 予想 <sup>(e)</sup>	
		売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT	売上 収益	EBIT
	科学・医用 システム	1,857	255	1,770	266	+5%	△10	1,740	230
	電子デバイス システム	1,178	214	1,027	153	+15%	+61	1,163	161
	産業 システム	936	18	985	11	△5%	+7	1,001	18
	先端産業 部材	2,455	22	2,568	35	△4%	△12	2,780	34
全社合計		6,300	458	6,290	482	+0%	△24	6,600	397

\* 全社合計にはセグメント間の内部取引の消去等が含まれています。

\* 2016年3月期のEBITには、確定給付企業年金制度の一部を確定拠出年金制度へ移行した影響額(38億円)を含んでいます。

## 受注高推移

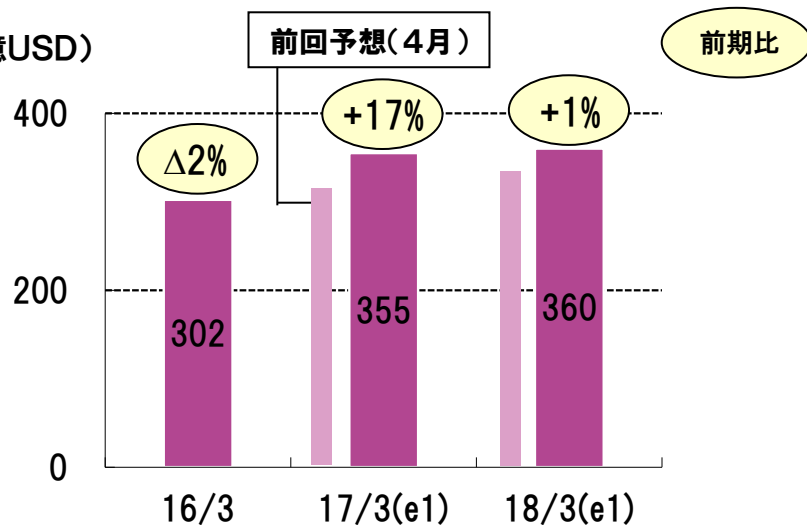
(億円)

	1H	2H	合計
16/3 実績	456	726	1,182
17/3 予想(4月発表)	506	505	1,011
17/3 予想(7月発表)	545	—	—
17/3 実績・予想(10月発表)	643	396	1,039

□ : 実績  
□ : 前々回・前回予想  
□ : 今回予想

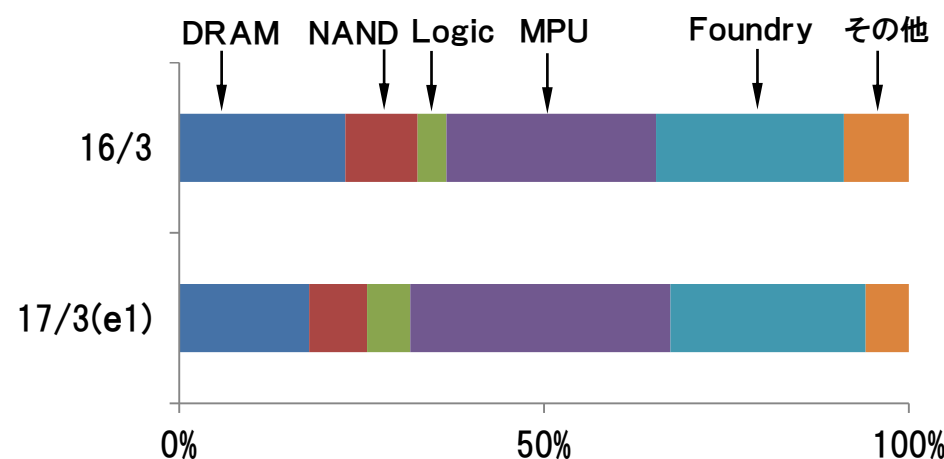
## 半導体製造装置市場(前工程)

(億USD)



(出所) Gartner(16年10月)  
および当社推定

## 前工程装置 分野別売上収益比率



## ■設備投資額・減価償却費・研究開発費

(億円)

	15/1H	16/1H	前年 同期比	16/3	17/3 (e1)	前年 同期比
設備投資額	62	46	△27%	120	173	+44%
減価償却費	52	52	+1%	105	111	+5%
研究開発費	98	111	+14%	202	247	+23%

(注)設備投資額は取得ベースにて記載

## ■地域別売上収益

(億円)

		日本	北米	欧州	アジア		その他	計
						中国大陸		
15/1H	売上収益	1,226	311	457	1,116	456	30	3,141
	構成比率	39%	10%	15%	35%	15%	1%	100%
16/1H	売上収益	1,160	293	459	1,085	402	51	3,048
	構成比率	38%	10%	15%	35%	13%	2%	100%



# 四半期業績の推移

(億円)			15年 1Q	15年 2Q	15年 3Q	15年 4Q	16年 1Q	16年 2Q
売上収益 ／ EBIT	科 学 ・ 医 用 シ ス テ ム	売上収益	404	450	419	497	458	468
		EBIT	63	76	66	61	92	53
	電 子 デ バ イ ス シ ス テ ム	売上収益	284	263	208	272	279	293
		EBIT	55	19	25	53	78	58
	産 業 シ ス テ ム	売上収益	186	265	198	336	184	228
		EBIT	△6	5	△3	15	△6	5
	先 端 産 業 部 材	売上収益	643	670	642	613	599	587
		EBIT	9	9	13	4	5	4
	そ の 他 ・ 調 整 額	売上収益	△12	△13	△16	△20	△24	△24
		EBIT	△4	△6	35	△7	△5	△11
合 計		売上収益	1,506	1,635	1,451	1,698	1,496	1,552
		EBIT	118	103	136	125	164	109
税引前利益			119	104	137	126	165	110
親会社株主に帰属する当期利益			77	92	104	87	129	80

# 主要製品群別売上収益の状況

(億円)	15年1Q	15年2Q	15年3Q	15年4Q	16年1Q	16年2Q
<b>科学・医用システム</b>	404	450	419	497	458	468
電子顕微鏡	56	96	75	122	50	88
科学機器	45	72	54	79	42	65
メディカル製品	270	250	251	267	333	280
バイオ製品その他	33	32	39	29	32	34
<b>電子デバイスシステム</b>	284	263	208	272	279	293
プロセス製造装置	153	127	101	135	146	139
評価装置	129	136	107	137	131	152
その他	2	1	0	0	1	2
<b>産業システム</b>	186	265	198	336	184	228
社会インフラ	60	89	70	124	76	78
産業インフラ	46	94	63	133	53	91
ICTソリューション	80	81	65	78	55	60
<b>先端産業部材</b>	643	670	642	613	599	587
工業材料	295	284	263	256	255	252
電子材料	214	231	214	198	193	188
VCS	134	155	165	159	151	147

# 2017年3月期第2四半期決算(IFRS)説明会資料

お問合せ先  
CSR本部 CSR・コーポレートコミュニケーション部  
部長 西村 健  
TEL:03-3504-7813 FAX:03-3504-5943  
E-mail: takeshi.nishimura.zh@hitachi-hightech.com

＜資料取り扱い上の注意＞

- ・本プレゼンテーションで述べられている決算概要および業績予想は、注記がある場合を除き、すべて連結であり、億円未満を四捨五入しています。
- ・当社が開示する将来の業績見通しや戦略等に関する予想は、開示時点で知りうる情報や合理的と思われる前提をもとに策定しており、さまざまな外部要因による直接的・間接的な影響により、実際の当社の業績等が開示内容と異なる可能性があります。但し、開示内容との間に大きな乖離がある場合は、法令や証券取引所が定める適時開示規則並びに当社の自主的な判断に基づき、その都度開示していきます。

また、この資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。